



ジェスチャーを交えつつ聴衆に訴えかける山田さん

輝いています

# ひと

やま だ ゆう と  
山田 悠翔 さん

埼玉県中学校英語弁論大会 2位

## 大好きな英語でいざ全国

**中** 学生たちが自らの意見を英語で発表し競い合う中学校英語弁論大会。その県大会が先月行われ、蕨市代表として出場した東中学校2年の山田悠翔さん（14歳・塚越2丁目）は2位となり、今月27日から開催される全国大会への切符を手に入れました。「もの心ついた頃には英語に夢中でした」と、山田さん。テレビの子ども向け英語番組に登場する人たちの英語圏特有の陽気さが気に入って、いつしかそこから聞こえる言葉をまねるようになります。幼稚園では英会話の時間がいちばんの楽しみで、小学校時代は洋画や英語のラジオに熱中。スターウォーズのDVDを何

度も観てせりふを覚えるも、あまりの熱心ぶりに両親が本気で心配し、DVDを没収されてしまう一幕もありました。そんな山田さんは中学校に入学した昨年、市内4中学校の生徒たちが英語のスピーチ力を競うコンテストの開催を知り、弁論の部で出場。持ちまえの英語スキルとアグレッシブな姿勢でみごと優勝します。しかしその後の県大会では、予選敗退。「自分自身の意見が足りない」という講評に、悔しさをにじませました。身近な体験を基にリベンジに臨んだ今年。一家全員がスマートフォンを多用するなか、母の友人の死を契機に家族や友人とじかに接する時間の尊さを悟った山田さんは、科学技術が浸透する社会での真に豊かな生き方について自らの考えを力強く訴え、市のコンテストで2連覇、県大会では昨年の雪辱を果たしました。全国大会へ向け、現在メンタル強化に励んでいる山田さん。本番前には全校生徒の前で練習を行う予定です。「支えてくれた人たちのためにも、悔いの無い最高の『伝わる』スピーチをしたい」。大舞台を前に、胸は高鳴ります。

### 今月の河鍋暁斎記念美術館

## 天才絵師の作品 蔵にあり

— No.42 —



『暁斎百鬼画談』より「鍋蓋、釜、鍋、五徳の妖怪」  
明治22年8月 版本

『暁斎百鬼画談』は、暁斎が亡くなった明治22年（1889）の夏に発行された多色摺りの絵本です。庶民が集まって怪談話をする「百物語」の場面に始まり、骸骨の軍団やさまざまな妖怪たちの行列が続く絵巻物風に描かれています。妖怪たちは、室町時代に描かれた「百鬼夜行絵巻」（大徳寺真珠庵所蔵、重要文



化財）などさまざまな妖怪絵巻からアイデアを得て描かれています。暁斎はポーズを少し変えたり何かを持たせたりと工夫を凝らして自分の作品に仕上げています。



かわなべ きょうさい  
河鍋 暁斎  
天保2年(1831)  
～明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館 開催中  
「暁斎一門が描くもののけの世界」展  
同時開催「小熊忠一氏寄贈作品」展

開館 = 午前10時～午後4時  
休館 = 木曜日・毎月26日～末日  
ところ = 南町 4-36-4  
入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円  
65歳以上500円 小・中学生300円  
※65歳以上の人は年齢の分かる物、  
学生は学生証をご提示ください。  
(20人以上の団体は要予約)  
詳細 = 同館(☎441・9780)

